

令和6(2024)年度 外部評価委員による評価結果

令和6年度愛知文教大学外部評価委員会  
愛知文教大学自己点検・評価委員会合同会議

・日時 令和7（2025）年2月6日（木）  
午前11時から午前11時43分

・場所 オンライン（Zoom）

・出席 外部評価委員4名（武市礼子氏、山口哲氏、平手悠佳里氏、柘宜佐統美氏）  
自己点検・評価委員（富田学長、江口副学長・学部長、遠藤大学院研究科長、鈴木事務局長、西口FD委員長、桑原総合企画部長、別府総務部副部長、安藤事務局次長、松村教務部長、梶川学生部長、早川自己点検・評価委員長・外部評価委員長）  
木和田入試広報センター長

・司会：早川自己点検・評価委員長

1. 開会の言葉と出席者紹介（早川自己点検・評価委員長）
2. 学長あいさつ（富田学長）（あいさつと概要説明「地域連携、語学研修」）
3. 自己点検評価の意義について（江口副学長）
4. 概要説明と外部評価委員からの意見等の質疑応答  
（ア）学生受け入れ（木和田入試広報センター長）  
（イ）学生サービス（梶川学生部長）  
（ウ）教育課程・カリキュラム（松村教務部長）  
（エ）FDについて（西口FD委員長）
5. 講評等（外部評価委員）
6. 学長謝辞（富田学長）
7. 閉会の言葉（早川自己点検・評価委員長）

## 令和6年度外部評価委員会 委員講評

外部評価委員からは次のような講評をいただきました（一部抜粋）。

外国人留学生受け入れや教員養成における顕著な成果に、深く感銘を受けました。

小牧市では、市内唯一の大学である貴大学との連携を非常に重視し、今後も様々な面で協力関係を継続したいと考えています。大学の北にある県の天然記念物「太良まめなしの里」では、今年度中に鑑賞可能な公園が整備され、観察会と完成式典が開催される予定です。この貴重な自然遺産を、ぜひ学生にもPRしていただき、地域との連携を一層強化できればと思います。

学内で非常に丁寧な取り組みを推進されていることがよく理解できました。小規模な大学であるため、卒業生の口コミによる広報効果には限界があると考えられ、戦略的な広報活動が不可欠であると思います。

現代の学生や高校生の情報収集の中心は Instagram であるという現状を踏まえ、Instagram を積極的に活用した情報発信を検討されてはいかがでしょうか。親近感のある写真や動画を通じて、大学のリアルな雰囲気や魅力を伝えることが、若い世代への効果的なアプローチとなるでしょう。もちろん、詳細な大学情報はウェブサイトで確認できるように連携を図ることが重要です。少人数教育や落ち着いた学習環境といった貴大学の強みを、ターゲット層に響くような形で効果的にアピールすることが、イメージ向上と志願者増加に繋がる鍵となると考えられます。

「学び合う学び研究所」のセミナーには、いつも貴重な学びをいただいております。セミナーの内容から、貴大学が教育に対して真摯に取り組んでいることは十分に伝わってきます。

昨年度に引き続き、留学制度の充実や留学生の積極的な受け入れなど、貴大学の国際交流に関する取り組みは大変素晴らしいと改めて感じました。また、教員採用試験の合格率が着実に向上していることは、貴大学の教員養成の質の高さを証明するものであると思います。児童館の運営に携わる者としては、教員免許を持つ方が児童館で子供たちの学びをサポートしていただける機会があれば、大変有意義ではないかと思いました。

学生サービスとして、キッチンカーの導入や様々な課外活動ツアーの実施など、学生生活を豊かにするための支援が充実していることに感銘を受けました。教員採用試験の合格者数の増加、卒業生への丁寧なアンケート調査とその結果のフィードバック、そして内部質保証に関する説明からも、貴大学がPDCAサイクルをしっかりと機能させ、教育の質の向上に継続的に取り組んでいる様子がうかがえます。第三者機関による認証評価において「適合」という評価を得られていることは当然の結果であり、次回の評価に向けても着実に準備を進められていると思います。

以上